

アスモ新聞

2006年12月1日(金)

「人に喜ばれる仕事を!!」のアスモは、みなさまとの新たな出会いをお待ちしております。

発行所
在宅介護センター・アスモ

創刊第16号

〒165-0026
中野区新井1-26-4 オスカーマンション2F

☎ 03-5318-4007



代表取締役 花堂浩一

『将来を見据える』

先日、ある有名な学習塾で講師をされていた方の忘れられないエピソードを聞かせて頂きました。受験が半年後に迫ったある日、一人の中学三年生男子がその学園に入塾してきたそうです。成績は、下位の方で、とても有名校に入れる状態じゃなかったそうです。その講師は生徒が、宿題の回答をノートに書いてこないことに対して、注意をしたそうです。「はい、分りました」と返事はするものの次の日もまた、宿題の回答を教科書の端に書いていたそうです。再度注意したが、また次の日も結果は同じだったそうです。さすがに、怒りが収まらず、頭に血が上った講師は、机にコピー用紙を叩きつけ、「これにやっつけてい」と怒鳴ってしまったそうです。そして次の日、生徒はコピー用紙に宿題の回答を書いてきたそうです。変わった子供だなぁ……。その後、三者面談の機会が持たれ、お母さんと小さな弟と一緒に来たそうです。この一部始終をお母さんに話すと、深々と頭を下げるとともに、女手ひとつで二人の子供を育ててきたこと、経済的な面、そして二年前から彼が憧れていた塾に、(半年分の学費が貯蓄できたため) やつとの思いで入れたこと等を聞かされ(母親の負担を少しでも軽くしたため) やつとの節約であったことを知り) いままで生徒に言ってきたこと、お詫びをしたそうです。それから俄然、その生徒を応援し、塾での成績もトップクラスとなり、県下の名門校へ受験することになったそうです。受験日に付き添い激励をし、いよいよ合格発表の日、会場で生徒を朝から待っていたのですが、なかなか姿をみせず、とうとう夜の7時になってしまったため、帰り支度をしていると、暗闇の中、お母さんと弟、その生徒の三人の姿が……。

「自分の事だから、自分の目で確かめて来い」と強い口調で促すと、生徒は一人で合格発表の掲示板を確認に行き、見事合格の掲示に、親子で泣き崩れたそうです。良かったな……。晴れて〇〇高校の生徒だ……。と生徒に声を掛けると、僕はこの学校に入学はしないとの言葉が返ってきて、一瞬耳を疑ったようですが、この事情が分り、出かかった言葉を抑え、何も言うことができなかつたそうです。はじめから行けないことが分っていたいながら、チャレンジし、実力を見せ付けた、その生徒と母親の姿があまりにも尊く映って、涙が止まらなかつたそうです。……。それから、3年後、東大合格発表の新聞記事に彼の名前が載っていたことで、将来を見据えて、準備(力をつける)しておくことがいかに大切かを教わったとのことです。

アスモ掲示板

★先月から、相川さんがアスモにサービス提供責任者として帰って来ましたよ (^_-) ☆利用者様、スタッフ、ヘルパー皆さんは彼女の顔を見て変わらぬ笑顔と大きな笑い声に再び喜んでおります。ただひとつ、変身した事・・・それは以前にも増してスキルアップに惜しまない彼女だから、人間的にもパワーアップ!でも腰は大切にね(*^^)v 佐藤

♡ サービス担当責任者紹介 ♡

村岡 志づ江(*^.*^*) (副所長兼任)

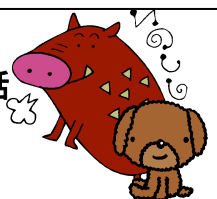
玉城 妙子(#^.*^#)

相川 文子 (^o^)/

鶴山 智砂子、(^.*^)/

アスモでは、楽しい新メンバーで、より一層、スキルアップしたサービスを提供させて頂きたく思います。どうぞ、これからも応援宜しくお願い致します! (●^o^●)

アスモでは、みなさんの原稿を募集しております。俳句・詩・笑わせるお話・感動するお話等々、お待ちしております! 2007年もご期待下さい!



私のドラマ・・・

アスモでは毎日毎日たくさんのご利用者さんとそのご家族の方々と関わらせていただいております。その中でのごく私を「私のドラマ」と題して赤裸々に綴らせていただきました。特に「お叱りの言葉」や「困難事例」を中心にアスモのスタッフ・ヘルパーが「考えたこと」そして「具体的に取組んだこと」がまとめてあります。



『元気・笑顔』



“こんにちは、アスモの相川です” この挨拶で利用者さん宅へ伺った時より【元気・笑顔】と気持ちを切り替えてケアに入ります。生活支援、身体介護と内容は多々ですが、一緒に掃除、声掛け、身体状況の情報収集をさせて頂くときも、ケアに入って自分が元気でないと、ケアにならないと思っています。介護職についてから疲れてダウンした事も2.3回ありますが、寝る、食べる、遊ぶで乗り切ってきました。が・・・腰痛で起きれなくなり痛い!力が入らない!体が重い!気分が落ち込むという状態になりました。スタッフの皆さんの配慮で腰の負担が少ないケアへと。所長の紹介で快復堂で治療をして頂き、今は腰にベルトをしてはいますが、通常に戻りつつあります。体が自分の思い通りに動かず、イライラして不自由を感じ、利用者さんの気持ちを頭の中だけでわかっていただけだと身をもって感じ反省しました。

これからは自分の体を大切に鍛えることにし【元気・笑顔】でいつもいられる様に努めていきます。そして利用者さんから、皆さんからも沢山のパワー、【元気・笑顔】を頂ける様、努力して行きたいと思っております。お仕事をしながら、沢山のひととのキャッチボールができる介護職につけています。幸せに思っています。(相川)



ブルーベリーチーズケーキ



【材料】 (15cm丸型一台分)
全粒粉ビスケット40g 無塩バター25g 粉ゼラチン8g
水大さじ2 プレーンヨーグルト200g カッテージチーズ(裏ごし)200g
ブルーベリージャム(低糖)100g グラニュー糖大さじ1 レモン汁小さじ1
キルシュワッサー小さじ1

【作り方】

- 1.ビスケットは細かく砕きます。溶かしバターを加えて混ぜ、型にしっかりと敷きこみ、冷蔵庫で冷やし固めます。
- 2.ヨーグルトはさらし布巾かペーパータオルに包み、ザルにのせて冷蔵庫に入れ、重さが半分になるまで水切りし、ゼラチンを分量の水にふり入れます。
- 3.ボウルにカッテージチーズを入れ、水切りしたヨーグルト、ジャム、グラニュー糖、レモン汁、キルシュワッサーの順に加えてよく混ぜます。
- 4.ゼラチンを湯せんにかけて溶かし、(3)に加えます。ボウルの底を氷水にあてながらトロミをつけ、(1)の型に流し入れて冷蔵庫で冷やし固めます。
- 5.好みにブルーベリー、ミントを飾ります。

ヨーグルトは、そのままでもOKですが水切りするとコクが出ます
ビスケットはビニール袋に入れて砕くと簡単!

今月のコラム

日常生活の中で知らず知らずのうちに体内に蓄積される「毒素」。

主に食物を通してため込まれる有害金属や残留農薬などの有害物質はまさにわたしたちの身体に悪影響を及ぼす悪玉。

できるだけすみやかに排出したいものです。

◎○●身近なデトックスフードはコレ◎○●

「毒出し作用」のある代表的な食材、いわゆるデトックスフードにはこんなものがあります。

- ◆「にんにく」・・・水銀・砒素を排出
- ◆「玉ねぎ」・・・アルミニウムを排出
- ◆「ゴボウ」・・・カドニウム・鉛を排出
- ◆「リンゴ」・・・カドニウム・鉛・砒素を排出
- ◆「きのこ類」・・・水銀・鉛・砒素を排出
- ◆「コリアンダー」・・・水銀・鉛・砒素・カドニウムを排出

上記以外では「長ネギ」「ブロッコリー」「海藻類」などの食材なども。

デトックスフードを日常的に摂取することで尿や便を通して有害物質を体外へ追い出すことができます。

中野の仲間 お店紹介



居酒屋 はいから亭



中野南口から中野通を大久保通り方面に向かい、五差路手前の左側2階にははいから亭の文字がガラス窓に・・・。なんとこのお店、ランチタイムは、OLやサラリーマンで大盛況。ランチ定食がなんと¥500ー。

40種のメニューから日替わりで、2品と定番の牛すじ丼を用意しているそうです。もちろんライス、味噌汁付きで、パスタ、丼ものは大盛可(驚きです)。そのうえ化学調味料は一切使用せず、完全手作りで、薄味を基本に調理し、家庭のお母さんの味を意識しているそうです。今は、お笑い界でもメジャーになった長井秀和さんも、大のお気に入り、テレビ放映もされていました。うちのスタッフもさっそく食べに行ったようです。夜の時間帯にお笑い寄席なども開催しているようです。

	中野駅
中野通り	南口
	★はいから亭
	大久保通